

事業所名

YOUKIチャイルドアカデミー神辺

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

R7 年 3 月 1 日

法人（事業所）理念	はぐくまれるべき子ども達、高齢・障がいにより介護を必要とする方、自分らしく働くことのできる場所を探している方。そして、そんな方達を支えている家族や支えることを仕事にしている方。そんなすべての人たちの、自己実現のさまたげになる問題を解決し続けていくことで、誰もが自分の意思で決めたことに挑戦できる地域社会をめざします。			
支援方針	将来の自立に向けた力をつけていく療育を行います。自立といつても一般就労、障害者雇用、就労継続支援A型・B型、生活介護等行き先はそれぞれと考え、その子の状態に沿った自立した力をつけていく支援を行います。その力を「生活力・就職力」と考えています。「生活力・就職力」は料理ができる、外出ができる、時間に合わせた行動や切り替えができる等自立したときに日常生活を過ごす力です。一つ一つを子ども1人の状態に合わせて5領域視点のアセスメント、支援、再アセスメント、支援を繰り返しながら、その情報を職員が共有しながら子ども達の支援を行います。			
営業時間	平日：10：00-19：00 土曜日祝日長期休暇：8：15-17：15	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容				
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッキングやおやつ作りを行い、調理道具の安全な使い方や正しい扱い方について理解する事ができるようになる。</li> <li>・楽しみながら行うことでバランスや栄養、楽しい良い食事を意識する事ができるようになる。</li> <li>・自身の持ち物や使用した物を片付けたり、整理したりする事ができるようになる。</li> <li>・片付け方法や場所、タイミング、手順などを視覚的に提示するとともに、確認をする機会をこまめに設けながら、自主的に管理することに意識を向かせていく。</li> <li>・次のプログラムに切り替えて取り組めるように、視覚、聴覚に働きかけ見通しを立てて構造化したスケジュール表や、児童に合わせた切り替えの支援を行う。</li> <li>・計画的に行動する事を習慣化し、余裕を持って行動に移す事ができるようになる。</li> </ul>			
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園や体育館で遊ぶ機会を設け、体を動かす活動や遊び慣れ、運動を楽しむ事ができるよう支援する。</li> <li>・体力とともに粘り強く繰り返し挑戦する気持ちを養っていく。</li> <li>・フィットネスやダンス、公園で様々な遊びを通して、全身を使った動きをスムーズに行い、一定の姿勢を維持したり体幹やバランスを保つ事ができるよう支援する。</li> <li>・工作や手芸を行い、指先を使った細かな作業に慣れ結ぶ、巻く、絞る、摘むなどの細かな作業を工作活動や運動活動に取り入れ、指先の力加減や動かし方を練習していく。</li> <li>・目標物との距離を適切に把握や、周囲の物と距離を把握し接触を回避する事ができるよう支援する。</li> <li>・工作道具、運動器具を扱う事に慣れ、適切に使用できるよう支援する。</li> </ul>			
本人支援	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを基にディスカッションやディベートを行う活動の中で他者の意見を聞く、自分の意見を伝える、意見を変化する事ができる練習をしていく。</li> <li>・レクリエーションを通して、楽しめるゲームを行いながら複数の選択肢の中から場に合った行動を選ぶ練習をしていく。</li> <li>・様々なテーマに沿ってイメージを広げたり、アイディアを出し表現できる力を支援する。</li> <li>・アートセラピーや工作物等で表現したり、言葉で説明したりする練習を行っていく。</li> <li>・身の回りの出来事に対してどのような解決方法があるかを考えたり、他者と協力したりする機会を設けていく。</li> </ul>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話から語彙や言い回しの意味について調べたり、会話の流れを通してどのように言い換えるべきかを説明したり活動の中で職員と一緒に使用したりしながら支援していく。</li> <li>・相手の話はなんであったか、会話の内容にあった受け答えであったかどうかについて職員と一緒に振り返る時間を設けていく。</li> <li>・他者に合わせて意見を変える事ができた際にはしっかりと賞賛していく。</li> <li>・どう思っているのか、何を感じたのかについて言葉にしたり、紙に書いてまとめたりする事に慣れる練習を行う。</li> <li>・相手の表情や態度の変化をこまめに知らせながら、どんな気持ちなのかについて職員と考える時間を設けていく。</li> </ul>		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動で行われているルールを理解し、守って過ごす事ができ、ルールが設定されている背景や意図を読み取り、他児童との関わりに意識を向かせていく機会を設ける。</li> <li>・協力的な態度や姿勢を具体的に提示し、自分が適切な態度を表出する事ができたかについて職員と一緒に振り返る時間を設けていく。</li> <li>・グループをまとめるリーダーとしての役割を繰り返し経験し、年齢相応に求められる判断力や責任能力を養っていく。</li> <li>・中学生以降の児童は「個別課題」を設定して（10分程度）、自立に向けて力を付けていく支援を行う。</li> <li>・自分自身を知り、長所と短所を理解したり自分への理解を深め、他者とのコミュニケーションに活かす事ができるようになる。</li> <li>・面接の練習を行い、受験や就職に向けて自分の長所短所を理解し、表出する事ができる機会を設ける。</li> </ul>		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な場面を想定しながら、家庭で実施できる対応方法を提案・助言する。</li> <li>・送迎時や半年に1回ペースで面談を行い、学校や家庭の様子の共有や、子育てに関する困りごとに対する相談援助を行う。年1回以上家族会を開催し、家族同士の情報交流の場を作る。</li> <li>・レスパイトや保護者の就労に対応するための支援を行う。</li> </ul>		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や事業所での様子、対応方法等についての共有を図り、将来像に合わせた一貫した対応を行なうことができるようにする。</li> <li>・自立に向け関係機関と連携を行い、発育ステージに合わせた情報を伝えする。</li> </ul>
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関との情報共有に基づき、具体的な場面を想定した上で、児童・生徒への関わり方を具体的に提案・助言する。</li> </ul>		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講演会や各種勉強会、研修への参加。</li> <li>・支援方法、支援方針についての内部研修、情報共有。</li> <li>・職員一人一人に合わせた教育計画の策定。</li> </ul>
主な行事等	避難訓練、社会見学、餅つき、卒業イベント、夏祭り、季節に合わせた活動、買い物練習、公共交通機関に乗る練習、就労体験			